

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6年 12月 4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200023		
法人名	広島良城会		
事業所名	グループホームさくら		
所在地	広島市安佐南区大塚西3丁目11-14 (電話) 082-848-9100		
自己評価作成日	令和6年9月25日	評価結果市町受理日	令和7年1月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosvoCd=3490200023-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年11月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

約4年間、コロナウィルス感染の対策として実施していた行事や外出・面会等において、中止となっていた事が少しずつでも改善できるように、力を注いでいます。対策期間中も利用者様が退屈されないように毎日レクリエーションを実施し、週に1度習字を行ったり、天気の良い時には園内散歩にお連れし、毎月の行事や生け花は各ユニット内で工夫して行いました。また、機能維持のための個別リハビリを介護職員の付き添いで毎日実施してきました。現在も行事や生け花・習字・リハビリを継続しながら、面会時間を30分に延長し、ご家族様や知人様にもご来所いただいています。6月より時間制限なく外出していただき、ご自宅や外食等でご家族様と一緒に過ごされる時間を作っています。とはいえ、感染症がなくなったわけではないので職員はもちろん、利用者様お一人お一人の感染予防や体調管理を行っています。徐々に地域密着行事も再会し、月に1度の慰問行事で利用者様に喜んで頂いています。9月からは地区の集会所（大塚サロン）に参加し、1～2名の利用者様をお連れ致しました。その他、年間行事のお花見はコロナ禍でも利用者様と職員が1対1で同行できるよう工夫し、縮景園や植物公園にお連れしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所理念「その人らしさを大切にし、笑顔あふれる暮らしを支援します」をもとに一日の流れ、起床から就寝までの生活習慣や生活感、趣味や得意とする物を日々の関りの中から、出来る事、出来そうな事を把握し、個別ケア、個別リハビリとして実践している。管理者、看護師、介護職員が話し合いケアプランを作成し、職員が誰でも出来るようにファイルに掲示し、一日の流れの中に組み入れた個別リハビリを、利用者全員が毎日行っている。日曜日は習字、月1回生け花を実施し、季節の花材で自由に生け、職員が指導者となって利用者の状態や視覚障害の方にも少しの手助けや声掛けで笑顔が見れる工夫をしている。生け花はエレベーターホールに飾り、自分が生けた生け花の見学や家族からも喜ばれる取り組みをしている。地域との交流が中止となっていたが、今後は、外出支援や地域行事の参加等の交流を検討している。

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践にっなげている。	その人らしさを大切に笑顔溢れるグループホームを理念に掲げ、職員の詰所への提示や申し送り時に唱和し理念を共有している。また、日々のコミュニケーションやレクリエーションを通し、利用者様が楽しく過ごせるような環境作りを心掛けています。	理念を各ユニットの良く見える壁面に掲示し、申し送り時に唱和している。理念に沿った年間目標を提示し、各委員会目標を挙げ、各ユニットリーダー、サブリーダーを中心にユニット会議で統一事項を提示し日々実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	外部の方とふれあいが持てるよう、月に1度の慰問行事を実施しています。令和6年9月からは地域のサロンへの参加を再開いたしました。月に1度1名～2名の利用者様をお連れできるよう計画を立てています。	地域包括支援センター主催の地域のサロン（大塚サロン）の再開で利用者が職員と共に参加や毎月（ハーモニカ演奏・合奏・ダンス等）の音楽会慰問で交流している。以前行っていた他事業所との風船バレーの交流や地域との繋がりが築けるよう検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前は外部の方の見学受け入れや認知症実習の受け入れを行い、認知症の方に対する理解を深めていただけるよう、事業所内における取り組みや支援方法の説明を行っていましたが、コロナウィルス感染対策から現在も受け入れが出来ていません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2カ月に1度、施設職員の参加のみで運営推進会議を開催しています。令和5年度からは外部の方々にも参加して頂いています。	運営推進会議開催の案内状を送付している。地域包括支援センター、社会福祉協議会、他事業所、利用者、家族等の出席で利用状況、交流・行事実施状況、ヒヤリハット・事故報告を行い、出席者から事業所実施状況についての意見や感想が得られ、サービスの向上に活かす取り組みをしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議の書類にて日頃の取り組みや活動について報告し、関係が保てるよう努力しています。	市担当者に運営推進会議案内状や議事録を送付している。事故報告や不明な点はファックスや電話等で相談を行い助言を得て、サービス向上に努めている。市主催の研修や地域包括支援センターとは運営推進会議の参加で事業所の状況報告を行い、情報共有をしている。	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	現在、当グループホームでの身体拘束は行っていません。やむを得ず身体拘束を必要とされる場合は、委員会での話し合いを元に検討を行うこととしている。その際には、必ずご家族様と相談し、同意を得た後に経過の記録を残し、定期的な検討会議を開催するよう徹底している。また、月に1度、委員会での状況報告を行い、事例をもとに検討会議を実施し、年に2度、研修を行っている。	年2回の研修で「身体拘束を行わず、利用者の安全を守る方法」を習得し、身体拘束適正化委員会では事例を挙げての話し合いや毎月各委員会で事業所の状況を協議している。運営推進会議に身体拘束防止について話し合い、意見交換を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に1度、虐待防止委員会を開催し状況報告を行っている。他、年に2度、虐待研修会を実施し、利用者様が安心・安全に暮らせるホーム作りを心がけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	資料をもとに制度に対する理解や必要性について学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入退居時、契約書及び重要事項の内容を説明し、利用者・家族様の同意を得ている。他、加算に対する説明や支援内容についての要望を十分に伺い、安心してご入居頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	相談や苦情受け入れの窓口を設け、利用者・家族様の要望に沿えるよう十分な話し合いを重ね、問題点の改善に努めている。また、内容を記載し全職員の周知を図っている。	日頃から電話や「さくら便り」等を通じて生活の様子を報告し、家族との信頼関係を築き、面会等にて相談や意見等聴取している。相談内容は申し送り時等で報告をし、職員間で情報共有を行い、意見や要望を反映に活かす取り組みをしている。	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々のケアを通じた気付きや、利用者様の変化に対応できる様話し合いを設け、意見を取り入れている。</p>	<p>各ユニットにリーダー、サブリーダーを設置し、職員の気付きや意見が出やすい体制作りを行い、リーダー会議で今の課題を検討している。意見等申し送りノートに記載し、早い段階で解決出来る事は家族に連絡し反映に繋げている。個人面談で随時シフト等についての話を聞く機会を設けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年に2度、職員の目標や自己評価に基づき、努力した点や成果を認め、新たな課題に繋げていく取り組みを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修の機会を設け、毎月内部研修を実践している。また、日々の業務の中で、職員の一人一人の力量に応じた育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>多くはないが、可能な限りで外部の運営推進会議やオンライン研修に参加し、サービス向上のための勉強会を行っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人やご家族様の意見を事前に伺い、サービスに生かせるよう努めている。安心した生活の確保ができるよう、また、統一したサービスが提供できるよう、事前に利用者様の情報シートを作成し、介護支援計画サービス内容の説明を各職員に伝えることで情報共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご入居前とご入居後に連絡を取り合い、状況報告を行っている。不安な点などに耳を傾け、不安が解消できるような提案や改善を行い、良好な関係が築けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前に利用者・ご家族様の要望を伺い、ご希望に沿った支援内容や他のサービスを相談できるよう機会を設けている。(入居日)利用開始日に合わせた支援・サービスの開始、対応ができるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>個人の能力に応じた生活支援に努めている。本人の生活習慣を尊重し、寄り添うケアに心がけている。また、ご利用者様同士の関係性に配慮できるよう、支援にあたっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者様の生活状況や体調に変化が見られた際には、定期的な報告・相談を行い今後の支援に繋げている。また、本人の生活歴や特徴などをご家族様から伺い、暮らしを支えていく上でのご協力をいただいている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>時々葉書を作り、ご家族様宛に手紙を書いていただき郵送している。電話を持ち込みお話される方もいるが、ほとんどの方が電話の扱いが難しくなり職員で管理を行っている方もいる。電話を持参されていない方でも希望時にはグループホームの携帯電話を使いお話して頂いている。徐々に面会時間を延長し、ご家族やご親戚、知人様と過ごせる時間を設けている。</p>	<p>電話の取り次ぎや手紙での交流、個人携帯を持っている利用者や友人、知人の来訪や居室での面会、家族の協力で自宅や買い物等の外出や友人同士の集まりの参加等、馴染みの人や場との継続支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>日々のレクリエーションや行事を用いて、利用者同士が関わられるよう配慮し、孤立しがちな利用者様でも楽しく交流が持てるよう機会を作っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退所時の支援を行い、退所後の状況も面会やご家族様を通して伺えるよう努めている。また、やむを得ず退所される方については、何度も話し合いを重ね、ご希望や状況に応じた移動先の確保や対応を行っている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりの生活習慣や意向を伺い、レクリエーションや手芸活動・行事を取り入れている。また、個人の能力に応じた家事への取り組みや個別リハビリも実施し、状態の変化に沿えるようその都度検討している。</p>	<p>生活歴や日頃の会話やコミュニケーションの中から趣味や興味のある事を把握している。表出の難しい場合は家族から聴取や毎日のケアの中で表情や仕草で汲み取っている。利用者の身体状況等に応じた個別リハビリ、習字や、生け花で生きがいややりがいのある取り組みを実践している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>これまでの生活歴を十分に伺い、個人の馴染みのある生活環境の把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>毎日の観察・個別の記録を行い、状態の変化や現状の把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人のニーズを把握するため、ご本人や御家族の思いを伺っている。生活上の問題点や気づき等、担当スタッフの意見も取り入れ、新たな計画に反映させている。	利用者の思いや家族の意向を把握し、アセスメント、日頃の状況、気づきや提案、医療関係者の助言等反映した介護計画を作成している。半年に1回見直し、状況に変化があればその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活日誌と個人の記録を毎日記載し、情報共有している。気づいたことへの対策や、工夫を生かしながら介護計画を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その時の状態や状況に対応できるように相談に応じている。また、グループホームへの入居前に、デイサービスやショートステイを利用し、他者や雰囲気にも馴染んで頂ける提案や支援も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	月に1度、地域の集会所にお連れしている。ただし、1度に複数人はお連れできないため1~2名様までとしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力病院を主治医とし、定期健診や週に1度の訪問診療を受けている。体調不良や緊急時には、24時間の連絡対応をしている。他の医療機関への受診時には主治医からの紹介をもらい円滑に受診できるよう支援している。	以前のかかりつけ医を利用の方もいるが、契約時説明にて殆どの方が協力医を主治医としている。週1回訪問診療や定期的な健康診療、看護師が在駐し利用者の健康管理や医療連携体制整備で適切な医療が受けれる支援をしている。他科受診は基本家族対応であるが、緊急時は、職員が対応している。	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は、看護師と、昼夜の利用者様の健康状態の情報共有ができるよう随時連携を図っている。また、看護と介護のケア統一化を図る為、看護と介護での意見交換を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	他の病院関係者との情報交換や相談を行い、様々な状況に対応している。ご家族様とも密に連絡を取り合い、相談、対応に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化や終末期など、医療管理が常時必要となった際の方針を指針とし、十分な説明を行っている。また、終末期ケアが必要となった際には、その人らしく生きていけることを優先にし考え、対応や場所なども含めた支援ができるよう取り組んでいる。また、今年度より、協力医療機関との連携強化のため、利用者様の情報をもとに、医師を含めた会議を実施している。	重度化した場合、早い段階から事業所で出来る事、出来ない事を伝え説明し同意を得ている。医師により説明を行い、内部研修やWEB研修で看取りケアを習得し、利用者の最期をその人らしく迎える事が出来るよう方針を決め、看取り計画を作成し、全員がチームとなり取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対処方法や連絡体制をマニュアル化し掲示している。緊急時に備え、医師や看護師と連携を図り、急変時や事故発生時に対応している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	大塚・伴南小学校校区自主防災会への応援協力要請、緊急時体制を取り、緊急時に備えている。施設内部にて、定期的な防災訓練を行っている。また、安佐南消防署の方々にも運営推進会議への参加を求め、防災についての指導を受けている。昨年度より、BCP策定によりマップ作りも実施している。	BCP（事業継続計画）を策定している。年2回昼夜想定した避難訓練をしている。訓練は通報訓練、避難経路確認、避難誘導訓練等実施している。緊急時の連絡網や非常時に備えて法人施設が備蓄を整備している。	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員1人1人に接遇マナーを心がけるよう指導し、気配りのある言葉遣いや相手の目線に合わせ会話するよう心掛けている。入浴や排泄は1対1で対応し他者の視野に入らないよう配慮している。	「接遇に関する研修」や「倫理及び法令遵守に関する研修」を行い、人格の尊重やプライバシーを損ねる事のない配慮した言葉かけや声かけ、介助方法等に取り組んでいる。個人情報の取り扱いに留意し収納庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	各利用者様が自己決定しやすいよう、また、希望を表せるよう話を傾聴している。自己決定が困難な方に対しては表情や行動に目を向け、自己決定しやすいよう働きかけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や入浴などの決定時間はあるが、状態に応じ、その時々での変更は行っている。なるべく個々のペースに合わせた支援ができるよう心掛けて、取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の希望に応じ、化粧品や化粧水等を購入している。また、希望に応じた散髪が出来るよう2社の訪問美容を入れている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嚥下状態に応じた食事の提供（普通食・刻み食・ソフト食・ミキサー食・ゼリー食）を行い誤嚥等の状態に注意を払っている。家事の役割を取り入れることで、他者との協力性も出ている。食事の楽しみが持てるよう、月に一度、寿司等を注文している。	配食業者の献立を温め配膳し、ご飯は各ユニットで炊飯している。利用者は盆拭きや洗濯物たたみ等家事活動をしている。月1度の食事は握りずしやお好み焼きを注文し、普段とは違う雰囲気を楽しむ支援をしている。誕生日会はケーキを提供し、メッセージカードを沿えてプレゼントを渡している。	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食事の摂取量を記入し全職員が把握できるようにしている。水分摂取量の確保に気を配り、お茶やコーヒー、ジュースの提供と、時間により味を変え提供している。食事摂取量の低下や体重減少の方には、エンシュアや高カロリーの物を提供し栄養バランスの確保に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケア及び義歯洗浄の支援をしている。また、義歯使用の方には一日一度の義歯消毒を行い口腔内部の清潔保持に努めている。歯科往診との業務提携を行い、週に一度のケアをしていただいている。また、口腔ケア後は毎都度歯ブラシの汚れを除去し、定期的な歯ブラシの交換も行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレでの排泄を基本とした排泄ケアに努めている。尿意、便意の有無を理解し、一人一人の排泄パターンを把握できるよう心掛けている。夜間、希望者にはポータブルトイレの設置を行い自力排泄に繋げている。排泄訴えの無い方には、その方に応じた定時誘導や声かけを行い、出来る限りトイレでの排泄が出来るように支援している。</p>	<p>排泄チェック表で一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけ誘導や見守りにてトイレで座位姿勢での排泄支援をしている。必要であれば家族に相談を行い、居室にポータブルトイレを設置し、夜間でも座っての排泄支援をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人一人の排便日を記録し、把握している。常に看護師との連携を図り、医師や看護師の指示の元に対応している。また、便秘解消のための腹部マッサージや、水分摂取にも気を配っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一週間に2回の入浴日を定めている。その他、利用者の健康状態等に応じ、入浴日の変更を行い、安全に入浴していただけるよう対応している。ゆっくり入浴出来るよう、お一人30分の時間を確保しお一人ずつの対応を実施している。</p>	<p>週2回の入浴を基本としている。健康状態や入浴拒否があれば、時間をずらしたり、声かけや人を替える等を行い、無理強いする事のないよう柔軟に対応している。肌に優しいシャンプーやボディソープを使用する等細かい所にも気配りを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	就寝時間は個々の生活リズムに 沿っている。利用者の体調や心 身の状況に応じ、休憩時間も大 切にしている。また、夜間は安 眠できるよう、個々に合った排 尿パッドの見直しも定期的に行 っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬の目的や副作用については、 医師や看護師が管理し指示を受 け対応している。確実な服薬を 行う為に、職員の3重チェック を行い安全な配薬に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	個々の生活歴や本人の希望に沿 い、活気のある生活や役割の提 供を行っている。退屈な時間が 続かないよう配慮し、毎日のス ケジュールを考え、午前はレク レーション・午後は手作業に取 り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。	ご家族様にご協力いただき、自 宅や外食等の外食にお連れ頂い ている。春には毎年お花見に職 員が同行し、縮景園や植物公園 等の普段行かれない場所にも出 かけている。	日頃から天気の良い日には敷地 内の散歩や花見に職員と1対1 での外出で、日にちを変えなが ら全員が参加できるようにし ている。家族の協力で自宅への 外出や外食を楽しんだり、事 業所内で出来る行事や四季折 々の花で生け花を楽しむ等、 季節を感じる支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	金銭はご本人や御家族様の同意 を得て金庫内で保管し事務所 での管理を行っている。必要 なものがある場合は、ご本人様 とご家族様に確認し、買い物サ ポートを行っている。また、外 出行事の際には、ご本人様にお 金を所持して頂き、ご自分で 支払いができるようサポートし ている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族様からの連絡を取り次ぎ、お話していただいている。また利用者側からの要請がある際には、要望に応じ電話をしていただいている。ご家族様からのお便りも多くいただき、喜ばれている。利用者側から手紙を出される際には、手紙に必要な物の購入郵送サポートを行いつている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用スペースには、毎月に沿ったカレンダーを皆で作成し飾っている。各居室の前には、毎月季節間のある飾り物を飾り、皆様に季節感が感じられるよう取り組んでいる。他、毎月行っている生け花の作品を共有スペースに展示しお花が眺められる環境や、毎月行事の写真を貼り、話題にもつながるよう工夫をしている。全ての窓に防災・遮光カーテンを使用し、直射日光にも注意を払っている。</p>	<p>利用者と共に制作した季節ごとの飾り付けや花見で外出した時の写真や音楽会慰問で楽しんだ時の写真を展示している。利用者が寛げるよう机や椅子、ソファを設置している。空調管理、換気、消毒等に気を配り、余暇の時間はカルタ等行い、皆が楽しく過ごせるよう工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用空間の席には、利用者間の人間関係や性格的にも考慮し定期的な検討を行っている。皆様が楽しめる空間や、誰もが孤立されないようにも配慮し、席ごとに分裂しないよう、一人一人の顔が見えるよう、机の配置にも気を配り考えている。また、一人で過ごせる時間の確保も行い、各居室での休憩時間も設けている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内には、使い慣れた家具や生活用品を置き、馴染みのある環境作りをテーマにしている。ベッドは利用者の身体動作面を考え配置し、生活用品の設置には、歩行の危険が無いよう、安全に配慮し工夫をしている。</p>	<p>ベッド、洗面台、エアコン、カーテンが設置してある。クロスやカーテンの色は居室ごと色が異なっている。収納ケース、テレビ、冷蔵庫、写真、位牌等自宅で使い慣れた物や大切にしている物を持ち参し、導線に支障がないようベッドやタンス等を配置し、居心地よく過ごせるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>居室を認識して頂く為の目印や、トイレが分かりやすいような工夫を取り入れ混乱を防いでいる。また、建物内は全てバリアフリーとなっており、廊下やトイレ・浴室内には手すりを設置し活用している。</p>		

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	その人らしさを大切にした笑顔溢れるグループホームを理念に掲げ、職員の話所への提示や申し送り時に唱和し理念を共有している。また、日々のコミュニケーションやレクリエーションを通し、利用者様が楽しく過ごせるような環境作りを心掛けています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	外部の方とふれあいが持てるよう、月に1度の慰問行事を実施しています。令和6年9月からは地域のサロンへの参加を再開いたしました。月に1度1名～2名の利用者様をお連れできるよう計画を立てています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前は外部の方の見学受け入れや認知症実習の受け入れを行い、認知症の方に対する理解を深めていただけよう、事業所内における取り組みや支援方法の説明を行っていましたが、コロナウィルス感染対策から現在も受け入れが出来ていません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2カ月に1度、施設職員の参加のみで運営推進会議を開催しています。令和5年度からは外部の方々にも参加して頂いています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の書類にて日頃の取り組みや活動について報告し、関係が保てるよう努力しています。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>現在、当グループホームでの身体拘束は行っていません。やむを得ず身体拘束を必要とされる場合は、委員会での話し合いを元に検討を行うこととしている。その際には、必ずご家族様と相談し、同意を得た後に経過の記録を残し、定期的な検討会議を開催するよう徹底している。また、月に1度、委員会での状況報告を行い、事例をもとに検討会議を実施し、年に2度、研修を行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>月に1度、虐待防止委員会を開催し状況報告を行っている。他、年に2度、虐待研修会を実施し、利用者様が安心・安全に暮らせるホーム作りを心がけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>資料をもとに制度に対する理解や必要性について学んでいる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退居時、契約書及び重要事項の内容を説明し、利用者・家族様の同意を得ている。他、加算に対する説明や支援内容についての要望を十分に伺い、安心してご入居頂けるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>相談や苦情受け入れの窓口を設け、利用者・家族様の要望に沿えるよう十分な話し合いを重ね、問題点の改善に努めている。また、内容を記載し全職員の周知を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々のケアを通じた気付きや、利用者様の変化に対応できる様話し合いを設け、意見を取り入れている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に2度、職員の目標や自己評価に基づき、努力した点や成果を認め、新たな課題に繋げていく取り組みを行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修の機会を設け、毎月内部研修を実践している。また、日々の業務の中で、職員の一人一人の力量に応じた育成に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	多くはないが、可能な限りで外部の運営推進会議やオンライン研修に参加し、サービス向上のための勉強会を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人やご家族様の意見を事前に伺い、サービスに生かせるよう努めている。安心した生活の確保ができるよう、また、統一したサービスが提供できるよう、事前に利用者様の情報シートを作成し、介護支援計画サービス内容の説明を各職員に伝えることで情報共有している。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご入居前とご入居後に連絡を取り合い、状況報告を行っている。不安な点などに耳を傾け、不安が解消できるような提案や改善を行い、良好な関係が築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前に利用者・ご家族様の要望を伺い、ご希望に沿った支援内容や他のサービスを相談できるよう機会を設けている。 (入居日) 利用開始日に合わせた支援・サービスの開始、対応ができるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	個人の能力に応じた生活支援に努めている。本人の生活習慣を尊重し、寄り添うケアに心がけている。また、ご利用者様同士の関係性に配慮できるよう、支援にあたっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様の生活状況や体調に変化が見られた際には、定期的な報告・相談を行い今後の支援に繋げている。また、本人の生活歴や特徴などをご家族様から伺い、暮らしを支えていく上でのご協力をいただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	時々葉書を作り、ご家族様宛に手紙を書いていただき郵送している。電話を持ち込みお話される方もいるが、ほとんどの方が電話の扱いが難しくなり職員で管理を行っている方もいる。電話を持参されていない方でも希望時にはグループホームの携帯電話を使いお話しして頂いている。徐々に面会時間を延長し、ご家族やご親戚、知人様と過ごせる時間を設けている。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々のレクリエーションや行事を用いて、利用者同士が関わられるよう配慮し、孤立しがちな利用者様でも楽しく交流が持てるよう機会を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所時の支援を行い、退所後の状況も面会やご家族様を通して伺えるよう努めている。また、やむを得ず退所される方については、何度も話し合いを重ね、ご希望や状況に応じた移動先の確保や対応を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの生活習慣や意向を伺い、レクリエーションや手芸活動・行事を取り入れている。また、個人の能力に応じた家事への取り組みや個別リハビリも実施し、状態の変化に沿えるようその都度検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴を十分に伺い、個人の馴染みのある生活環境の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の観察・個別の記録を行い、状態の変化や現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人のニーズを把握するため、ご本人や御家族の思いを伺っている。生活上の問題点や気づき等、担当スタッフの意見も取り入れ、新たな計画に反映させている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活日誌と個人の記録を毎日記載し、情報共有している。気づいたことへの対策や、工夫を生かしながら介護計画を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時の状態や状況に対応できるよう相談に応じている。また、グループホームへの入居前に、デイサービスやショートステイを利用し、他者や雰囲気にも馴染んで頂ける提案や支援も行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>月に1度、地域の集会所にお連れしている。ただし、1度に複数人はお連れできないため1~2名様までとしています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力病院を主治医とし、定期健診や週に1度の訪問診療を受けている。体調不良や緊急時には、24時間の連絡対応をしている。他の医療機関への受診時には主治医からの紹介をもらい円滑に受診できるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は、看護師と、昼夜の利用者様の健康状態の情報共有ができるよう随時連携を図っている。また、看護と介護のケア統一化を図る為、看護と介護での意見交換を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	他の病院関係者との情報交換や相談を行い、様々な状況に対応している。ご家族様とも密に連絡を取り合い、相談、対応に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化や終末期など、医療管理が常時必要となった際の方針を指針とし、十分な説明を行っている。また、終末期ケアが必要となった際には、その人らしく生きていけることを優先にし考え、対応や場所なども含めた支援ができるよう取り組んでいる。また、今年度より、協力医療機関との連携強化のため、利用者様の情報をもとに、医師を含めた会議を実施している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対処方法や連絡体制をマニュアル化し掲示している。緊急時に備え、医師や看護師と連携を図り、急変時や事故発生時に対応している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	大塚・伴南小学校区自主防災会への応援協力要請、緊急時体制を取り、緊急時に備えている。施設内部にて、定期的な防災訓練を行っている。また、安佐南消防署の方々にも運営推進会議への参加を求め、防災についての指導を受けている。昨年度より、BCP策定によりマップ作りも実施している。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員1人1人に接遇マナーを心がけるよう指導し、気配りのある言葉遣いや相手の目線に合わせ会話するよう心掛けている。入浴や排泄は1対1で対応し他者の視野に入らないよう配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	各利用者様が自己決定しやすいよう、また、希望を表せるよう話を傾聴している。自己決定が困難な方に対しては表情や行動に目を向け、自己決定しやすいよう働きかけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や入浴などの決定時間はあるが、状態に応じ、その時々での変更は行っている。なるべく個々のペースに合わせた支援ができるよう心掛けて、取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の希望に応じ、化粧品や化粧水等を購入している。また、希望に応じた散髪ができるよう2社の訪問美容を入れている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嚥下状態に応じた食事の提供（普通食・刻み食・ソフト食・ミキサー食・ゼリー食）を行い誤嚥等の状態に注意を払っている。家事の役割を取り入れることで、他者との協力性も出ている。食事の楽しみが持てるよう、月に一度、寿司等を注文している。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食事の摂取量を記入し全職員が把握できるようにしている。水分摂取量の確保に気を配り、お茶やコーヒー、ジュースの提供と、時間により味を変え提供している。食事摂取量の低下や体重減少の方には、エンシュアや高カロリーの物を提供し栄養バランスの確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケア及び義歯洗浄の支援をしている。また、義歯使用の方には一日一度の義歯消毒を行い口腔内部の清潔保持に努めている。歯科往診との業務提携を行い、週に一度のケアをしていただいている。また、口腔ケア後は毎都度歯ブラシの汚れを除去し、定期的な歯ブラシの交換も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレでの排泄を基本とした排泄ケアに努めている。尿意、便意の有無を理解し、一人一人の排泄パターンを把握できるよう心掛けている。夜間、希望者にはポータブルトイレの設置を行い自力排泄に繋げている。排泄訴えの無い方には、その方に応じた定時誘導や声かけを行い、出来る限りトイレでの排泄が出来るように支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	一人一人の排便日を記録し、把握している。常に看護師との連携を図り、医師や看護師の指示の元に対応している。また、便秘解消のための腹部マッサージや、水分摂取にも気を配っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	一週間に2回の入浴日を定めている。その他、利用者の健康状態等に応じ、入浴日の変更を行い、安全に入浴していただけるよう対応している。ゆっくり入浴出来るよう、お一人30分の時間を確保してお一人ずつの対応を実施している。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	就寝時間は個々の生活リズムに沿っている。利用者の体調や心身の状況に応じ、休憩時間も大切にしている。また、夜間は安眠できるよう、個々に合った排尿パッドの見直しも定期的に行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の目的や副作用については、医師や看護師が管理し指示を受け対応している。確実な服薬を行う為に、職員の3重チェックを行い安全な配薬に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々の生活歴や本人の希望に沿い、活気のある生活や役割の提供を行っている。退屈な時間が続かないよう配慮し、毎日のスケジュールを考え、午前はレクリエーション・午後は手作業に取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族様にご協力いただき、自宅や外食等の外食にお連れ頂いている。春には毎年お花見に職員が同行し、縮景園や植物公園等の普段行かない場所にも出かけている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭はご本人や御家族様の同意を得て金庫内で保管し事務所での管理を行っている。必要なものがある場合は、ご本人様とご家族様に確認し、買い物サポートを行っている。また、外出行事の際には、ご本人様にお金を所持して頂き、ご自分で支払いができるようサポートしている。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様からの連絡を取り次ぎ、お話していただいている。また利用者側からの要請がある際には、要望に応じ電話をしていただいている。ご家族様からのお便りも多くいただき、喜ばれている。利用者側から手紙を出される際には、手紙に必要な物の購入郵送サポートを行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用スペースには、毎月に沿ったカレンダーを皆で作成し飾っている。各居室の前には、毎月季節間のある飾り物を飾り、皆様に季節感が感じられるよう取り組んでいる。他、毎月行っている生け花の作品を共有スペースに展示しお花が眺められる環境や、毎月行事の写真を貼り、話題にもつながるよう工夫をしている。全ての窓に防災・遮光カーテンを使用し、直射日光にも注意を払っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間の席には、利用者間の人間関係や性格的にも考慮し定期的な検討を行っている。皆様が楽しめる空間や、誰もが孤立されないようにも配慮し、席ごとに分裂しないよう、一人一人の顔が見えるよう、机の配置にも気を配り考えている。また、一人で過ごせる時間の確保も行い、各居室での休憩時間も設けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内には、使い慣れた家具や生活用品を置き、馴染みのある環境作りをテーマにしている。ベッドは利用者の身体動作面を考え配置し、生活用品の設置には、歩行の危険が無いよう、安全に配慮し工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室を認識して頂く為の目印や、トイレが分かりやすいような工夫を取り入れ混乱を防いでいる。また、建物内は全てはバリアフリーとなっており、廊下やトイレ・浴室には手すりを設置し活用している。		

V アウトカム項目(3F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームさくら

作成日 令和6年12月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	家族様の望む個別リハビリやレクリエーションの実施は出来ているが、利用者1人1人に沿った個別レクがなかなかできない。	全員の個別レクは難しいが、少しずつ実践していきたい。	利用者との散歩回数を増やし、会話する時間を増やしていく。希望の多い手芸活動や家事の分担は1人1人の能力だけを見ずに、困難な方でもやりたい人が行えるように改善していく。	1年
2	49	ご家族様同行による外出は実施しているが、ご家族様が来られない方も外出できるように外出行事を増やしていきたい。	コロナ禍前に行っていた外出行事を復活させたい。	暖かくなったら、少人数ずつ外出にお連れする。(感染予防のため、短時間の外出から始める)	1年
3	2	地域との交流が少ないためつながりを増やしていきたい。	地域サロンへの参加回数や人数を増やしていきたい。地域の方の慰問行事も探していきたい。	月に1度開催の地域サロンは現在の職員が足りず参加できない事もあるため人数確保をし、毎月行事にしていく。	1年
4	14	声掛けや介助方法が業務化したり馴れ馴れしくなることがあるため職員全員が初心を忘れない環境を作りたい。	接遇マナー研修を増やす。	年に1度計画の接遇研修を年2回に増やす。	1年
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。